



岩木山に、県内の火山で初めて噴火警戒レベルが設定されました

火山噴火への備え

+ 岩木山の噴火警戒レベル (平成28年7月運用開始)

噴火警戒レベルとは、噴火時などに危険な範囲や必要な防災対応を、レベル1から5の5段階に区分したものです。各レベルには、火山の周辺住民、観光客、登山客等のとるべき防災行動がひと目でわかるキーワードを設定しています。

種別	名称	対象範囲	レベル	キーワード	火山活動の状況	住民等の行動及び登山者・入山者等への対応	想定される現象など
特別警報	噴火警報(居住地域)	居住地域及びそれより火口側	5	避難	居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が発生、あるいは切迫している状態にある。	危険な居住地域からの避難等が必要。	<ul style="list-style-type: none"> ●融雪型火山泥流または火碎流・火碎サージが発生、あるいは切迫している。 ●噴火の規模や位置が特定できない場合に、融雪型火山泥流または火碎流・火碎サージの可能性がある。
			4	避難準備	居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が発生すると予想される(可能性が高まっている)。	警戒が必要な居住地域での避難準備等が必要。要配慮者及び特定地域の避難等が必要。	<ul style="list-style-type: none"> ●融雪型火山泥流または火碎流・火碎サージを伴う噴火が予想される。
警報	噴火警報(火口周辺)	火口から居住地域近くまで	3	入山規制	居住地域の近くまで重大な影響を及ぼす(この範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ)噴火が発生、あるいは発生すると予想される。	住民は通常の生活。火口から居住地域近くまでの範囲への立入規制等。状況に応じて要配慮者の避難準備、特定地域の避難等が必要。	<ul style="list-style-type: none"> ●マグマ噴火の発生が予想される。 ●融雪型火山泥流及び火碎流・火碎サージが予想されない噴火の発生。 <p>過去事例 江戸時代の噴火(1600年、1618年、1782年冬～83年春、1845年、1863年)</p>
			2	火口周辺規制	火口周辺に影響を及ぼす(この範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ)噴火が発生、あるいは発生すると予想される。	住民は通常の生活。火口周辺への立入規制等。状況に応じて特定地域の避難準備等が必要。	<ul style="list-style-type: none"> ●水蒸気噴火の発生が予想される。 <p>過去事例 1978年の活動:赤倉沢で噴気活発化</p>
予報	噴火予報	火口内等	1	こ活火山で留意する	火山活動は静穏。火山活動の状態によって、火口内で火山灰の噴出等が見られる(この範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ)。	状況に応じて火口内への立入規制等。	<ul style="list-style-type: none"> ●火口内での少量の噴気・火山ガス等の発生

*特定地域とは、警戒範囲に隣接している常盤野町会を指します。噴石、火碎流、火碎サージ、融雪型火山泥流で避難道路などが通行不能となる恐れがある区域では、早期避難等が必要です。

*火口とは、岩木山火山噴火緊急減災対策砂防計画で想定された火口をいいます。

※気象庁資料より抜粋

+ 噴火警戒レベル別 弘前市内の警戒地区と防災対応

(2016年2月 岩木山火山防災協議会資料より)

警戒地区にお住まいの方は、噴火警戒レベルに応じて避難する必要があります。チェックしましょう。

レベル	警戒地区	防災対応	避難所
5	岩木地区、東目屋地区、裾野地区、船沢地区 ※積雪時、融雪型火山泥流が発生すると予想される場合は、相馬地区、高杉地区、新和地区、藤代地区も含む	避難指示(緊急)	警戒範囲外の指定避難所・指定緊急避難場所 Check 29～31ページ
4		避難準備 高齢者等避難開始	
3	岩木地区(常盤野町会)	避難指示(緊急)	岩木B&G海洋センター
2		避難準備 高齢者等避難開始	
1	—	—	—

災害につながる主な火山現象

火碎流

高温の火山灰や岩塊、空気や水蒸気が一体となって急速に山を下る現象。時速は100キロを超えることもあり、通過した範囲は焼失、埋没する。

火碎サージ

火山灰と火山ガスの混合物が一体として急速に山を下る現象。火碎流よりスピードが速く、逃げることは不可能。

融雪型火山泥流

山に積雪がある時期、噴火による火碎流等の熱で斜面の雪が融かされ、大量の水が周辺の土砂や岩石を巻き込みながら高速で流れ下る現象。河川を伝って家屋を破壊するなど、大規模な灾害になりやすい。



Check 噴火情報はこれでチェック!

岩木山火山防災協議会

<http://www.bousai.pref.aomori.jp/DisasterFireDivision/council/iwakiAgreement/index.html>

水害

土砂災害

暴風

竜巻・雷

台風

火山

火災

地震

停電

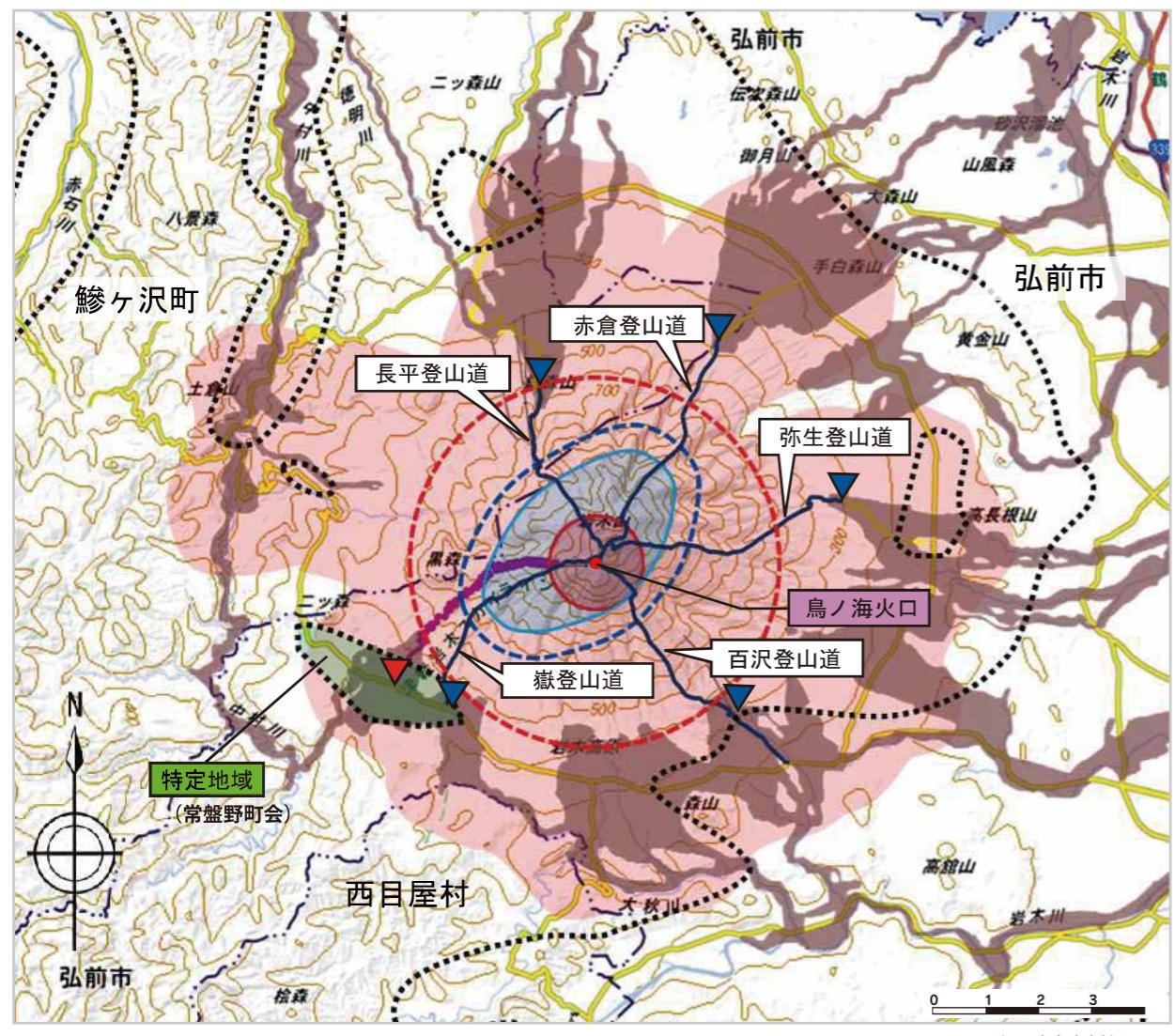
雪害



岩木山は県内の火山で初めて、噴火警戒レベルが設定されました

火山噴火への備え

+ 噴火警戒レベルに対応した警戒範囲



水蒸気噴火の想定火口

水蒸気噴火時の
大きな噴石の警戒範囲
(レベル2:想定火口から約500m)

火碎流・火碎サージの
警戒範囲(レベル4・5)

レベル2以上の時の
登山道の規制位置

居住地域との境界

マグマ噴火の想定火口

マグマ噴火時の
大きな噴石の警戒範囲
(レベル3:鳥ノ海火口から約3.5km)

融雪型火山泥流の
警戒範囲(レベル4・5)

レベル2以上の時の
津軽岩木スカイラインの
規制位置

登山道



火山噴火への備え

火山のそばに 住んでいる人は

避難場所・家族
との連絡手段の
確認、火山性地
震に備えた家具
の補強などをし
ましょう。



火山から離れた場所に 住んでいる人は

火山灰被害に備えましょう(食料備蓄、
ゴーグルやマスクの準備など)



噴火が始まったら

- 安全な場所に避難しましょう(市からの避難勧告・指示に従う)
- 行政機関や報道機関が発表する正確な情報を入手しましょう
- 登山中に遭遇したら岩陰や山小屋に避難
- ヘルメットとゴーグルやマスクを着用しましょう



火山情報をチェック!

火山活動に変化があった場合は、気象庁からテレビ・ラジオ等を通して発表されます。

噴火警報

Check 15ページ

噴火警戒レベル(1~5)に変化が
あった場合に発表されます。
発表された警戒レベルに応じて、警戒
範囲や避難行動を確認して下さい。



噴火速報

噴火が発生すると、テレビ・ラジオ等
から速報として発表されます。
登山中に見聞きしたら、下山する、避
難小屋に退避するなど、身を守る行
動をして下さい。火山のそばに住んで
いる人は、周囲の状況を確認しなが
ら避難を始めて下さい。

岩木山の活動状況は気象庁のホームページで確認できます

http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/activity_info/202.html

火山活動の状況(岩木山)

水害

土砂災害

暴風

竜巻・雷

台風

火山

火災

地震

停電

雪害